

# 文教福祉常任委員会活動報告

当委員会は、10月1日に矢板市に伺い、今年4月にオープンした文化スポーツ複合施設を視察しました。

当施設は、老朽化に加え、令和元年台風19号により被災した矢板市文化会館と矢板市体育館の代替施設として、総事業費約19億2千万円をかけて統合整備されました。時代と需要の実勢に合わせて規模を縮小し、研修室やトレーニング設備、中長期向けの避難所機能を有しながらも、コンパクトでDXに対応した複合施設で、可動式の座席を設置することでホールとしても機能します。全館エアコンを完備した施設は需要が高く、大会や合宿に利用され、当初目標の年間利用者3万人を超えるペースで稼働しています。

本市でも公共施設の再編が議論されているため、学ぶことも多く、調査研究を続けていく上で有意義な視察となりました。

文教福祉常任委員会 委員長 荒井浩二



体組成測定機器等について説明を受ける委員